



おおの  
**大野**

ひろし  
**寛**

しんわかい  
**津和会**

### 使い勝手の悪い、みえ森と緑の県民税

**問** 平成26年度に、みえ森と緑の県民税交付金事業が予定されているが、県民税の趣旨である、災害に強い森林づくり、県民全体で森林を支える社会づくりに貢献する事業なのか理解に苦しむ。森林の再生は急務である。

災害に強い森林づくりに市も直接かかわって事業展開を図れるよう強く県に進言し、一刻も早く森林の再生を目指せる事業の予算化を。

**答** 森林を維持・保全していくためには、直接、森林への施業等を通じた管理とともに、木材に多くの人が関心を持って木材の利用を促進していく観点が重要である。

例えば、みえ森と緑の県民税交付金事業のうち、木質バイオマス利用促進事業については、間伐材を発電の原料として利用してもらうことにより、洪水時の間伐材流出を防ごうとする事業である。

また、実施する事業については、第三者機関である県の評価委員会において事前審査や事後審査が行われることから、県に対し、市が事業を実施していく上で、実態に即した活用ができるよう求めていきたい。

### ●その他の質疑・質問●

- 津市山間地農業について
  - ・中山間地指定の見直しはできないか
  - ・津市単独補助金の要件緩和の検討について
- 津市産業・スポーツセンターの再見積りの費用について
- 津市小中一貫教育について
  - ・学力学習状況調査の平均正答率が全国平均を上回るなど数値目標の実現方法について など



▲悲鳴を上げる津市内の森林



かとう みえこ  
**加藤 美江子**

こうめいとう きいんだん  
**公明党議員団**

### 男性不妊治療の助成について

**問** 鈴木三重県知事の、「子育て支援における、ありとあらゆる手だてをしていく一つとして、男性の不妊治療の助成を実施していく」との記者会見での発言を受けて、我が津市の見解を問う。

**答** 平成26年1月の新聞にこの情報が掲載され、2月の下旬に県の説明会があったため、今回の当初予算案には計上できなかった。

しかしながら、これまでもこういった県の助成事業はフルに活用してきており、市で助成額の上乗せ、あるいは県の制度では対象外となっている部分への助成を行うなど、さらに拡充をして現在も対応している。

今回も、この趣旨、目的を踏まえ、不妊に悩む方々への支援策として、できれば本年6月の補正予算で計上ができるよう、しっかりと関係部局と調整をしていきたいと考えている。

### ●その他の質疑・質問●

- 少子化対策をどう考えるか
- 女性支援のためのがん検診推進事業について
- 産後ケアについて
- 障害者優先調達推進法の制定による我が市の取り組みは
- 家具等転倒防止対策事業について
- 河川における避難のあり方は
- デイジー教科書に取り組んでいる学校の状況は など



▲不妊に悩まれる方々への負担軽減の施策は積極的に推進を

